

平成19年度（一般・特別）会計・当初予算 常任委員会審議報告

総務文教常任委員会委員長 杉本 和彰

総務課 一般会計予算は、前年度に比較して3億2,950万6,000円増加して総額57億1,843万7,000円。地方債については起債見込み額が約5億2,000万円であり、返済する元金総額が、約7億9,000万円で約65億6,000万円。財政町政基金及び減債基金の取崩し額は、それぞれ2億円、1億5,000万円を予定。地方バス路線維持事業約2,000万円、誘致企業等懇話会の設置、本庁駐車場整備事業約4,500万円、支所費、駐車場整備費400万円、地図情報システム構築事業費5,500万円、交通安全施設整備費（カーブミラー・ガードレール工事費240万円）交通安全教室用信号機88万円、防犯等設置工事費52万5,000円。

議会 前年度に比較して約1,000万円増の約9,500万円、教育委員会 歳出約5億7,000万円、学校施設耐震調査委託料約900万円、小学校費約1億1,100万円、用務員委託料495万円（5名分）支援員委託料約566万円（4名

分）工事請負費約863万円であり、西小倉庫中央小校内放送設備取り替え工事、緑小 体育館防火防災シャッター危害防止装置工事等。中学校費 三加和中学校体育館柱防護マット取り付け等で約142



空調工事予定の和水町中央公民館

万円、公民館費 設計管理委託料510万円（中央公民館空調）工事請負費4,990万円（中央公民館空調工事費）、税務住民課歳入、町税約9億円、個人分約3億1,000万円、法人分約5億2,000万円、前年度より3,500万円の減額、固定資産税約4億4,000万円。

歳出 負担金約519万円、せきすい斎苑管理負担金と使用料負担金、委託料 ごみ収集運搬業務委託約2,200万円、粗大ゴミ収集運搬業務委託86万7,000円、一部事務組合負担金約2億9,000万円、資源回収事業補助80万円、生ごみ補助処理機購入補助27万円、ごみ収集箱設置補助40万円、国民健康保険事業会計 前年度に比較して総額約15億9,300万円、20年度から保険証がカード形式に変更される。通信運搬費88万7,000円、配達記録郵便に変更される。

厚生常任委員会委員長 坂本 政光

平成19年度、一般会計、特別会計の予算審議を、厚生常任委員会の所管であります「特別養護老人ホーム」「国民健康保険和水町立病院」「健康福祉課」の予算審議を、3月14日・15日に渡り各担当課より説明を受けました。

きくすい荘の歳入関係では前年度より2千万円余りの減となっているのは、17・18年度と続けて利用者間でインフルエンザ等の流行により入院が頻発したためサービス収入減となった。19年度は施設として努力をしていかななくてはならないが、ある程度想定しておくことも必要なため収入を抑えた結果である。

歳出面では、一般管理費の方で、浄化槽から町の下水道へ変更されるため、それに伴う工事費が350万円、備品関係では、大型洗濯機2台、乾燥機2台で約700万円、配膳車140万円となっている。

次に、居宅サービス事業費用として、車椅子ごと乗れる軽自動車の購入費用として、168万5,000円であります。

平成19年度の病院事業収益は、前年度に比べ3

千717万5,000円（4.2％）減の8億7,785万5,000円で、その内容として、入院収益が4億8,134万5,000円（5.4％）外来収益が2億286万円（23.1％）となっております。病院事業費用は、収益と同額で、費用の90％を占める医業費用が7億9千523万4,000円であります。

また、本年度の事業として、医事会計システムの更新及びX線透視撮影装置、シャワー入浴装置の購入を予定しており、その財源として、補助金や企業債を予定しております。

健康福祉課関係では、乳幼児医療費助成事業として、就学前までの医療費の無料化事業が、満9歳まで引きのばす新事業が組み入れられることになった。

また、一般30歳以上、69歳以下の人を対象にセツト健診の推進、選択健診推進と予算も計上してある母子保険事業として、18年度まで2回の妊婦検診を行っていたが、19年度より年4回の検診を行うことにしている。

特別会計、介護保険事業会計で総額13億9,200万円を計上、前年度に対して384万円の減額となっているが、介護保険事業は3年計画で、ほぼ前年度なみである。

以上、簡素ではありますが、厚生常任委員会の予算審査報告とします。



和水町立病院専用送迎バス『さわやか号』

建設経済常任委員会委員長 北原 芳史

予算審査報告

平成19年度、経済課、建設課関係の予算は次の通りです。

- ・農業総務振興費の修繕費として310万円を計上、（ロマン館ボイラー修理、レストラン床張替他）
- ・経営構造対策事業費補助として1億450万円（旧三加和町のライスセンター建設補助金）
- ・新規就農者は、本年度2名で40万円
- ・県営圃場整備事業費として農村振興基本計画策定委託料537万円
- ・中山間地等直接支払交付金として4,826万円の53協定分
- ・団体圃場整備事業が約1,400万円（日平地区の換地委託と設計委託料で664万円）
- ・農地流動化地域推進事業補助金843万円
- ・農地・水・農村環境保全向上対策事業負担金328万円（実施地区21地区）
- ・林業振興費 間伐作業道開設事業426万円（委

託料と工事請負費）
・商工費として商工会補助金（菊水商工会750万円、三加和商工会250万円）

・観光費として交流センターあばかん家の修繕費として3,000万円（条件付で承認）



完了した日々平地区圃場整備

◆建設費

- ・土木費として県事業負担金2,500万円、土木費補助金約3,700万円となっています。
- ・簡易水道事業会計歳入歳出予算額3,688万円、水道使用料1,500万円（380軒）、一般会計予算繰入金2,133万円、公債費の元金償還金約1,286万円
- ・下水道事業会計歳入歳出予算額6,318万円、（対前年度比△48.2％）、一般会計繰入金3,416万円、19年度の主な事業内容は工事請負費300万円

・特定地域生活排出処理事業会計予算歳入歳出それぞれ8,531万円、19年度の主な事業費として浄化槽50基分を計上し、工事負担費6,025万円を計上してあります。

以上で建設、経済関係19年度予算審査報告とします。